

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	その他	授業の方法	講義
科目名	在宅援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担当教員	戸板宏一郎、坂本万理、川崎文恵、北村明美、前田美和、山根綾香	実務経験とその関連資格	医療機関での入退院支援、訪問看護ステーションの訪問看護師として豊かな経験を有す			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>わが国では要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムが進められ、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みが積極的に取り組まれている。本科目は地域包括ケアシステムの考えを理解し、各職種の役割と活動、仕組みについて学習する。また、臨床で活躍している訪問看護師から特徴的な療養者に対する訪問看護の実際について講義を受ける。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(100点)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>在宅看護論(医学書院)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>訪問看護師から特徴的な疾病をもつ療養者への訪問看護の実際を学びます。各看護学で学んだ疾患と看護を復習し理解を深めましょう。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>療養の場への移行をスムーズにするために退院支援や退院調整はますます重要です。積極的に質問し学びを深めていきましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムの考え方や仕組みが理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:シラバスを読む、テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	1.高齢者の現状から地域包括ケアシステムの考え方を学ぶ 2.地域包括支援センターの機能と役割を学ぶ (担当:戸板)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムにおけるネットワークづくり、多職種・多機関連携の重要性が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	1.地域のネットワークづくりの必要性を高齢者の実情から学ぶ 2.ケアマネジメントの概念とプロセスを学ぶ (担当:戸板)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ケアマネジメントの方法が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:介護支援専門員について復習する 事後学習:居宅サービス計画書の内容を確認する	
		各コマにおける授業予定	1.居宅サービス計画書の内容を紙上事例から学ぶ (担当:戸板)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	ケアマネジメントの方法が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:介護保険サービスの種類と内容を確認しておく 事後学習:居宅サービス計画書を提出する	
		各コマにおける授業予定	1.紙上事例の区分支給限度基準額内で居宅サービス計画書をグループで作成する (担当:戸板)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ケアマネジメントの方法が理解できる	テキスト、配布資料	事前課題:発表の準備をする 事後学習:学びを整理する	
		各コマにおける授業予定	1.グループで作成した居宅サービス計画書を発表し、自立支援やサービスの活用方法、多職種・多機関連携について考える (担当:戸板)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅看護における権利保障が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:既習の成年後見制度を復習する 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅看護にかかわる自己決定支援、権利擁護、個人情報保護について学ぶ (担当:戸板)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者虐待の実態と対応が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:既習の高齢者虐待について復習する 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.高齢者虐待に関するデータをもとに、虐待の要因や対策を学ぶ (担当:戸板)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムと地域医療連携が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.地域包括ケアシステムにおける病院の役割を学ぶ 2.退院支援と退院調整、退院支援に携わる看護師の活動を学ぶ (担当:北村)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院における継続看護とその方法が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.病院における継続看護や多職種連携について、実際の取り組みもとに学ぶ (担当:北村)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	病棟看護師が関わる退院支援・退院調整の実際が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.病棟看護師が関わる退院支援・退院調整の実際を学ぶ (担当:前田)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	独居の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.独居の療養者の現状と支援を学ぶ (担当:戸板)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経難病の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅で生活する神経難病の療養者の現状と支援を学ぶ (担当:川崎)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅で療養する小児と家族の現状と支援を学ぶ (担当:坂本)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅で生活する精神疾患の療養者の現状と支援を学ぶ (担当:戸板)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期の療養者に対する在宅看護の実際が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクト	事前学習:テキストを読む 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅で終末期を迎える療養者の現状と支援を学ぶ (担当:山根)		